

科目名	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）
開設学校名	岐阜大学
講師	工学部 大谷 具幸 教授 他
初回予定日	2020年4月14日
授業時間	毎週火曜日 4時限目 14時45分開始 16時15分終了
主会場	岐阜大学 柳戸キャンパス 全学共通教育棟 25教室
聴講方法	対面授業
科目内容	岐阜県には、日本の縮図とも呼ぶべき地質や活断層、水環境がある。地質では20億年前の石・日本最古の化石があり、活断層では1891年濃尾地震で動いた根尾谷断層が世界に紹介され、その後の地震の理解に大きく貢献した。水環境では、清流長良川の源流から河口までがあり、地下水に恵まれた地域でもある。これらの豊かな自然について理解を深めるとともに、私たちの身近に潜んでいる問題点を学ぶ。
注意事項	講義は全11回であり、残りは博物館実習を行う。講義で紹介する博物館の中から1ヶ所を選んで、見学を行い、レポートを作成する。なお、見学する経費と保険は自己負担。 高校生は受講できません。 【参考文献】みのひだ地質99選／小井土 由光 岐阜新聞社 2011 978-4877971670 ひだ・みの活断層を訪ねて／岐阜県活断層研究会 岐阜新聞社 2008 978-4877971267 濃尾平野の地盤—沖積層を中心に（ジオテクノート）／地盤工学会「濃尾平野の地盤—沖積層を中心に」編集委員会 地盤工学会 2006 978-4886442154

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	4月14日	はじめに（担当：大谷）
第2回	4月21日	地質：岐阜県は日本列島の縮図－20億年前の石ころから最近の地層まで（担当：大谷）
第3回	4月28日	地質：岐阜に眠る地下資源（担当：大谷）
第4回	5月12日	活断層：1891年濃尾地震と根尾谷断層－そのとき何が起きたのか（担当：大谷）
第5回	5月19日	地質：岐阜の活火山（担当：大谷）
第6回	5月26日	休講
第7回	6月2日	地質・活断層と水環境：濃尾平野の形成（担当：大谷）
第8回	6月9日	水環境：木曽川水系における流域の空間構造と特徴（担当：篠田）
第9回	6月16日	水環境：木曽川水系における洪水の歴史とその対応策（担当：篠田）
第10回	6月23日	水環境：流域内水環境に及ぼす人間活動の影響と制御策（担当：篠田）
第11回	6月30日	水環境：濃尾平野の地下水と地盤沈下（担当：神谷）
第12回	7月7日	水環境：岐阜県における地下水の役割（担当：神谷）
第13回 第14回	(7月14日) (7月21日)	休講 6, 13, 14. 博物館実習（3回分の授業に相当） 教員が提示した複数の自然系博物館の中から、受講生がどれか1つを選び、各自で博物館を見学して、その内容をレポートにまとめて報告する
第15回	7月28日	総まとめ授業、及び理解度認定

